

4 - 9 伊豆半島における自噴泉の水温・電導度の連続測定

The Continuous Observation of Water Temperature and Conductivity of Self-Spouting in the Izu Peninsula

京都大学 理学部

Faculty of Science, Kyoto University

前報¹⁾に引き続き伊豆半島における自噴泉の水温変化について報告する。

第1図は河津・土肥の水温及び電導度の変化と、伊豆半島付近の地震活動を示す。水温は連続記録から、1日の最高、最低水温を読み取り1日の変化幅で表わし、電導度は零時の値を読み取ったものである。縦軸は地震の発生を示しマグニチュード (J. M. A.) と河津から震央までの距離を上段に示した。又、下段の E.S は群発地震の期間を示す。

第2図に、河津・土肥の自噴泉の水温・電導度の経年変化を示す。黒丸は月平均値、白丸は年平均値を示す。

河津において、水温は1979 - 83年にかけて上昇を続けていたが、1984年は10月現在、下降気味である。又、1984年4月以降著しい下降と上昇を繰り返しているが何の影響によるものか今の所不明である。

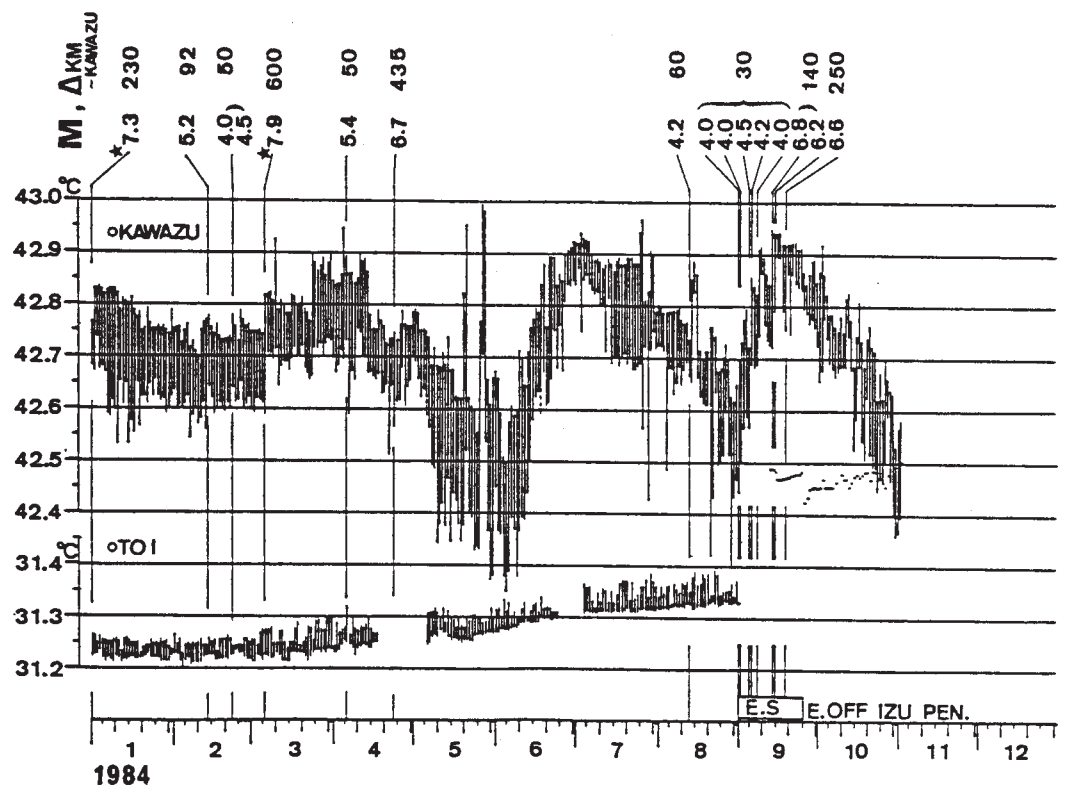
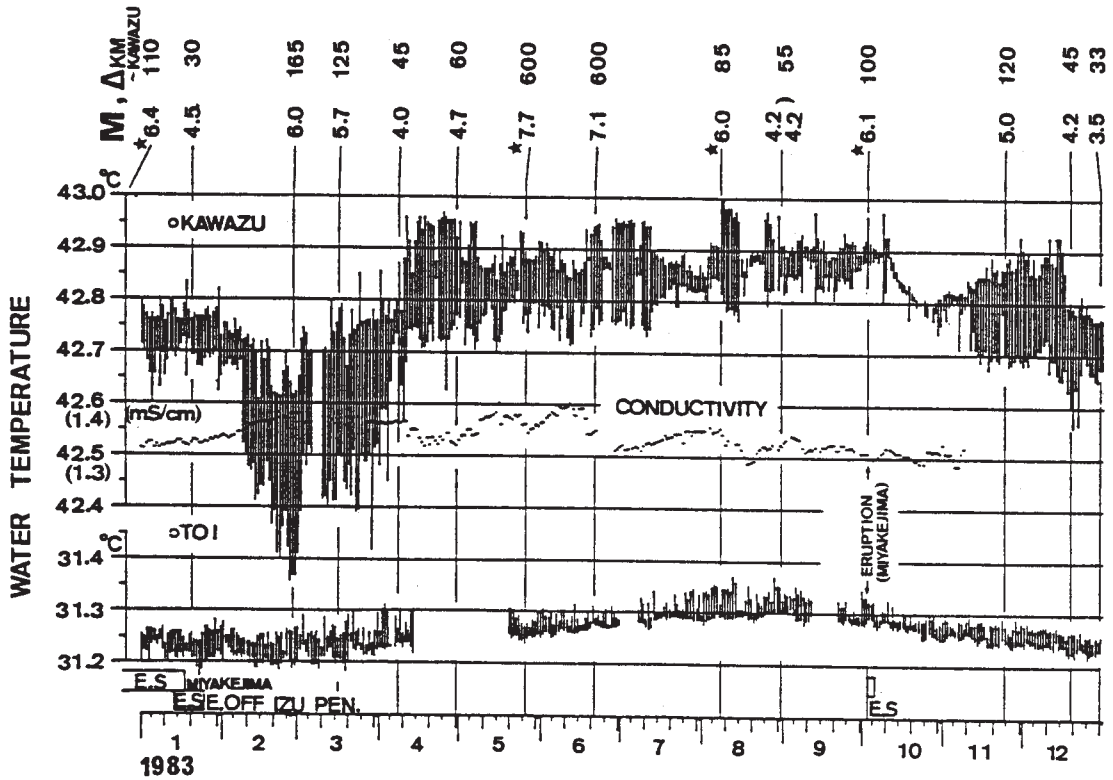
電気伝導度は1981, 82年と水温とは逆相関の関係にあったが、1983年は正相関と成ったが11月以降長期欠測し、以後の事情は不明である。連続測定は1984年9月に再開した。

土肥においては、1979 - 81年にかけて低下していたが、1981-83年にかけてはわずかながら上昇している。

(浅田照行)

参 考 文 献

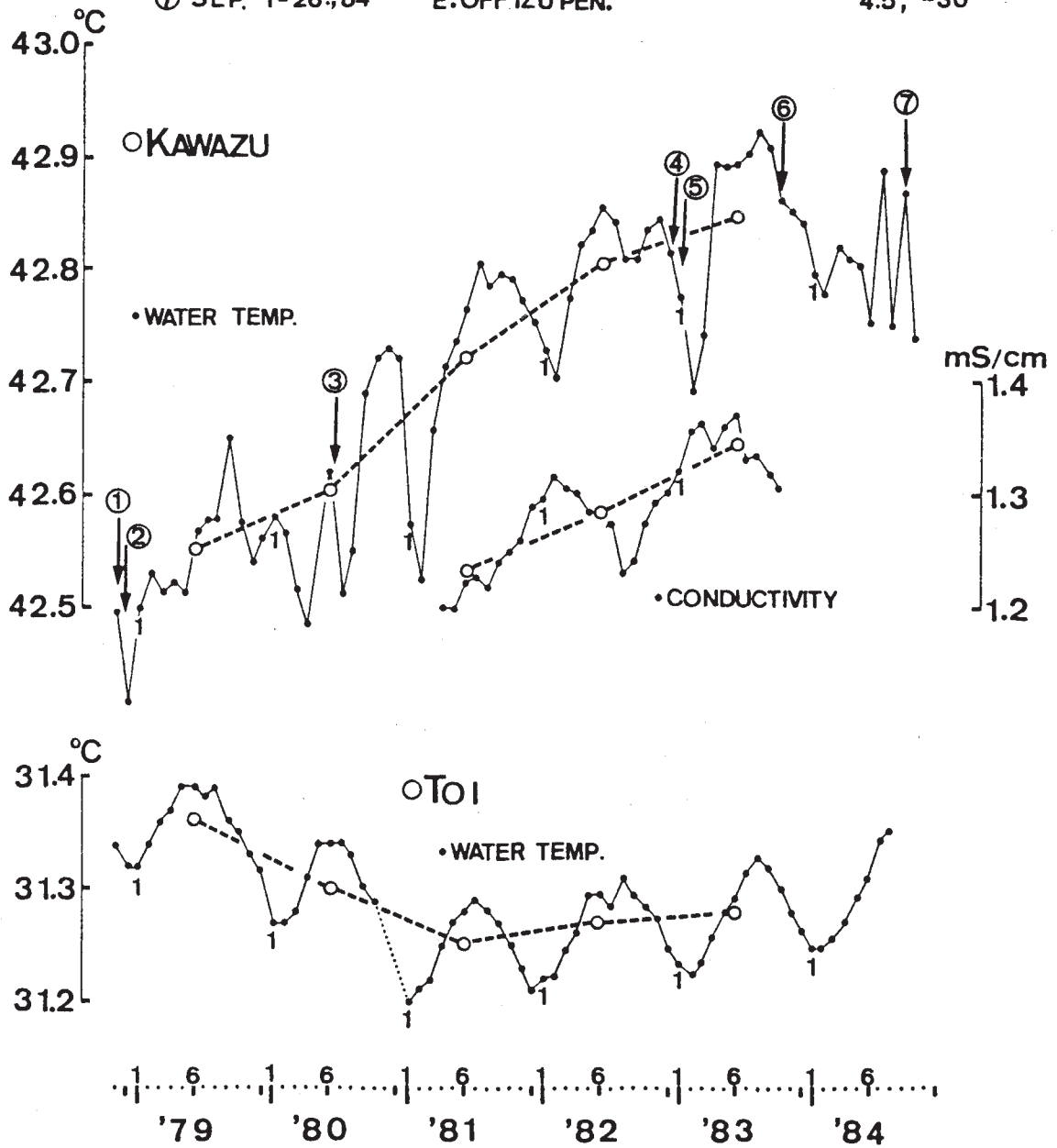
- 1) 京都大学理学部:河津の自噴泉におけるコサイスミックな水温変化, 連絡会報, **31** (1984), 257 - 261.



第1図 河津・土肥の自噴泉の水温変化と伊豆半島付近の地震活動

Fig. 1 The seismic activities near Izu Peninsula and the course of daily water temperature variations at the self-spouting hot spring at Kawazu and Toi.

- | | | | | |
|-------------------------|-----------------|----------------|--|-----------|
| ① NOV. 23, '78 | C. IZUPEN. | M 4.9, Δ-5.5KM | | |
| ② NOV. 27-DEC. 17, '78 | E. OFF IZU PEN. | | } EARTHQUAKE SWARM
max. M 5.3, Δ-30KM | |
| ③ JUN. 25-JUL. 27, '80 | E. OFF IZU PEN. | | | 6.7, ~30 |
| ④ DEC. 27- JAN. 18, '82 | NEAR MIYAKEJIMA | | | 6.4, ~110 |
| ⑤ JAN. 14-25, '83 | E. OFF IZU PEN. | | | 4.5, ~30 |
| ⑥ OCT. 3-7, '83 | NEAR MIYAKEJIMA | | | 6.1, ~100 |
| ⑦ SEP. 1-26, '84 | E. OFF IZU PEN. | | | 4.5, ~30 |



第2図 河津・土肥の自噴泉の水温・電導度の経年変化
(●：月平均値 ○：年平均値)

Fig. 2 Secular variation of water temperature and conductivity at the self spouting hot spring at Kawazu and Toi. (●: Monthly averages, ○: Annual averages.)